

教科書: 実教出版: 詳述政治・経済  
 副教材: 実教出版: 詳述政治・経済 演習ノート 新課程版

1 学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識・技能 定期考査、課題等
- b 思考・判断・表現 定期考査、課題等
- c 主体的に学習に取り組む態度 平素の授業態度、提出物、発表等

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点			
							a	b	c	
前期	現代日本における政治・経済の諸課題	民主政治の基本原則	政治と法	政治における権力の役割と限界について考える	4	○	○	○	○	
			民主政治の原理と発展	・国民主権や基本的人権の保障が主張されること、それによって市民革命が実現し、民主政治が生み出されたことを理解させる。			○	○	○	
			世界の政治体制	・世界の政治体制を例に、議院内閣制と大統領制の特徴を理解させる。			○	○	○	
		日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立	・大日本帝国と日本国憲法の違いを理解させる	5	○	○	○	○	○
			平和主義	・日本国憲法の特徴と基本原則について理解させる。				○	○	○
			基本的人権の保障	・日本国憲法における平和主義を理解する。また、日本の自衛隊のあり方や、国際貢献について考えさせる。				○	○	○
		日本の政治機構	人権の広がり	・基本的人権の保障と、新しい人権の内容を整理する。	6	中間	○	○	○	○
			立法	・日本の三権分立制の特徴を理解させる。また、民主主義を機能させるための議会制民主主義について考える。				○	○	○
			行政	・内閣と内閣総理大臣の権限を理解させる。				○	○	○
		現代日本の政治	司法	・司法権の独立の意義を考えさせる。また、国民の司法参加の意義と課題について理解を深める。	7	○	○	○	○	○
			地方自治	・日本の政党政治に触れ、55年体制の展開を理解させる。				○	○	○
			選挙制度と政党	・政党の役割を理解させ、日本の選挙制度の課題について確認させる。				○	○	○
前期 授業評価							○	○	○	
後期	グローバル化する国際社会の諸課題	現代社会の変容	経済活動の意義	・資本主義経済の基本的な仕組みを理解し、資本主義社会の発展について考える。	10	○	○	○	○	
			経済社会の形成と変容	・経済の国境を越えた取り組みについて考える。			○	○	○	
			市場機構	・企業・家計・政府が国民経済で果たす役割を理解させる。			○	○	○	
		現代経済のしくみ	現代の企業	・株式会社のしくみと現代企業のCSRについて考える。	11	○	○	○	○	○
			国民所得と経済成長	・フローとストックの定義について正確に理解する。				○	○	○
			金融のしくみ	・経済活動における銀行の役割を理解する。				○	○	○
		現代経済と福祉の向上	財政のしくみ	・日本経済の歩み	11	○	○	○	○	○
			日本の中企業と農業	・高度経済成長期の諸問題を考える。また、バブル経済とその後の崩壊による長期的不況を考える。				○	○	○
			国民の暮らし	・中小企業の役割と地位を理解する。				○	○	○
		現代日本における諸課題の探究	環境保全と公害防止	・日本の公害の歴史を振り返り、環境問題や新たなエネルギー問題について考える。	12	中間	○	○	○	○
			労使関係と労働条件の改善	・社会保障制度の発達について整理する。				○	○	○
			社会保障の役割	・少子高齢化が進む日本において、持続可能な社会づくりのためにわたしたちが出来ることを考察する。				○	○	○
グローバル化する国際政治	地域社会の自立と政府	・少子高齢化による財政難や防災力の低下において、住民と自治体の連携について考える。	1	○	○	○	○	○		
	防災と安全・安心な社会の実現	・国民生活において不可欠である食料の安定供給について、農業構造の観点から考える。				○	○	○		
	歳入・歳出両面での財政健全化	・国民にとって望ましい働き方や生活スタイルの多様化について、私たちにひつようなことを考える。				○	○	○		
現代の国際政治	産業構造の変化と起業	・国際法が人類に果たす役割について法の支配が働かない国際政治という立場から考えさせる。	1	○	○	○	○	○		
	食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現	・国際連盟の意義と実効を考えさせる。				○	○	○		
	多様な働き方・生き方を可能にする社会	・東西冷戦の過程と世界の安全保障について理解させる。				○	○	○		
現代の国際経済	少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化	・日本の国際社会への復帰と取り組みについて理解させる。	2	○	○	○	○	○		
	国際政治の特質と国際法	・国際収支のしくみについて理解する。				○	○	○		
	国際連合と国際協力	・第二次世界大戦後のアメリカ中心の経済体制を理解する。				○	○	○		
現代の国際経済	現代国際政治の動向	・金融のグローバル化による国際的な金融危機についてそのメカニズムを理解する。	2	○	○	○	○	○		
	核兵器と軍縮	・世界の紛争について、解決のために何が必要であり、国際社会が何をすべきなのかを考える。				○	○	○		
	国際紛争と難民	・グローバル化にともなう世界とのつながり、共生について理解する。				○	○	○		
国際社会の諸課題	国際政治と日本	・環境保全へ向けた脱炭素社会と温暖化防止について考察する。	2	○	○	○	○	○		
	商品・資本の流れと国際収支	・持続可能な国際社会をSDGsを通して、人類共通の目標となっていることを理解する。				○	○	○		
	国際経済体制の変化	・国際協力の発展と課題				○	○	○		
後期 授業評価							○	○	○	

3 評価の観点

各観点100点満点で算出する。  
 ○知識・技能 : 考査素点 70%+課題等 30%  
 ○思考・判断・表現 : 考査素点 60%+課題等 40%  
 ○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物、発表等…100%